

強い農業づくり総合支援事業の取組事例(令和4年度:事業実施主体:カゴメ(株))(愛知県)

取組の概要

対象品目 : 露地野菜(加工用トマト)
 成果目標 : 事業実施主体の提供するサービスを活用する農地面積
 基準(令和3年度) 0ha
 目標(令和6年度) 40ha
 導入機械 : 農業支援サービス事業支援タイプ
 加工用トマト収穫機10機購入
 加工用トマト搬出機20機購入

愛知県名古屋市(本社)



機械稼働予定産地
 北海道、青森、岩手、宮城、山形、福島、茨城、栃木、新潟、長野、静岡、滋賀、広島

ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

契約栽培面積維持、拡大に向けた加工用トマトの収穫作業の省力化・低コスト化

トマトジュースの原料となる加工用トマトを国内農家・生産者と契約栽培により調達しているが、重労働である加工用トマト生産者数は高齢化により減少している。そこで収穫作業の負担軽減のため、収穫機を農機メーカーと共同開発したが、高額であることからその収穫機の普及が進んでいない。契約栽培面積の維持、拡大に向けて、生産者における収穫作業の省力化、低コスト化が課題。



【産地としての持続性を確保し、収益力を向上するための方策】

全国各地の生産者へ収穫機等を貸与し、加工用トマトのリレー出荷を仕組みを構築

同社が収穫機を導入し貸与することにより、収穫機導入コストを抑制し高齢者でも持続可能な生産体系を確立する。また、所有する機械を有効活用するため、特定の産地に契約面積が集中しないように契約先を選定するとともに、非稼働日を最小化するよう産地リレー計画を定める。

推進体制

カゴメ(株)
野菜原料部

・収穫機導入、貸与
・トマトジュース製造

青果物売買契約
収穫機貸与覚書

収穫機貸与

トマトの出荷

JA、全農、農業法人
使用者101名(令和4年3月現在)

・加工用トマト契約栽培

地域における独自の取組

同社栽培指導員が全生産者のほ場を巡回し、データの確認、要因分析するとともに、生産者とともに改善策を検討する。

期待される事業効果

【事業実施による直接効果】

- ・面積当たりの収穫作業時間の削減
- ・生産者の減価償却費の削減

【事業実施による間接効果】

- ・契約面積の維持、拡大

年間稼働面積

R3: 0ha → R6: 40ha



加工用トマト収穫風景



運搬機の様子

